

第5次狭山市総合計画実施計画(案)について

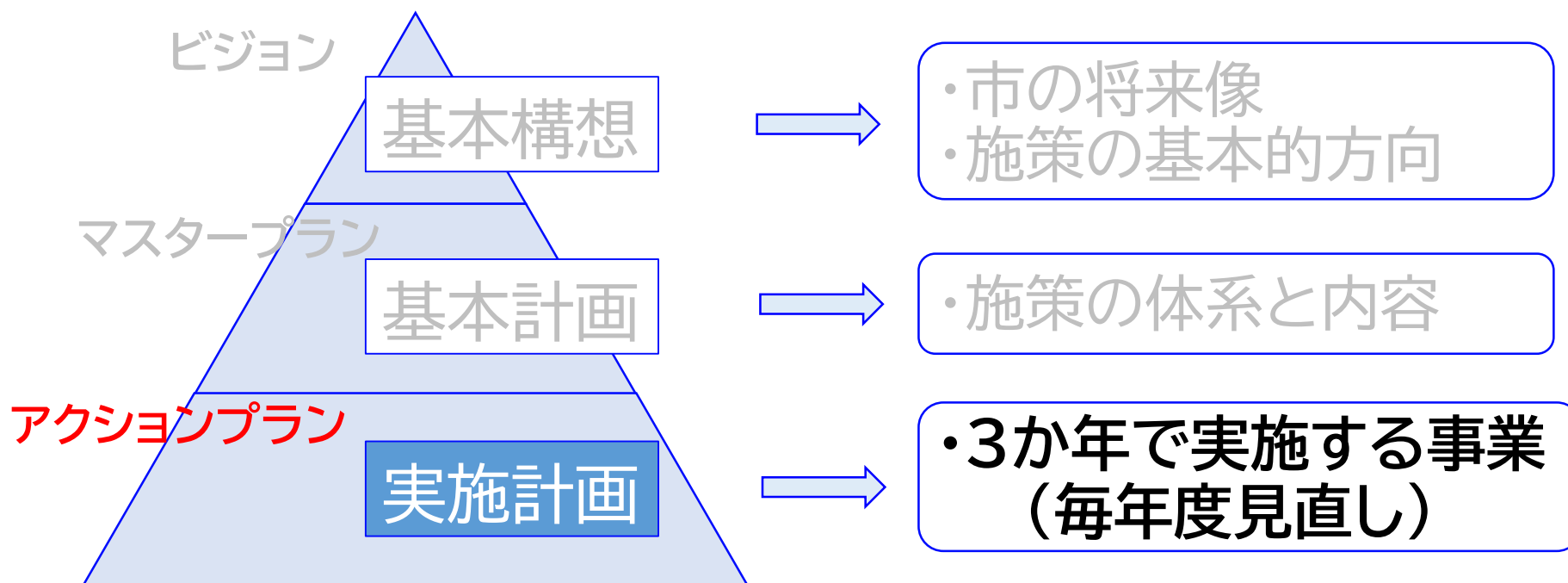
令和8年度～令和10年度

令和7年度 第4回
狭山市総合計画審議会

(令和8年2月13日)

実施計画の概要

実施計画は「第5次狭山市総合計画 前期基本計画」に掲げた施策を計画的かつ効果的に実現するため、向こう3か年で実施する事業を具体的に示すもので、毎年度の予算編成の指針となるもの。



4つの重点テーマ

重点的・優先的に取り組むべきテーマとして、**新たに4つの重点テーマ**を設定



●テーマ1 若い世代を伸ばそう

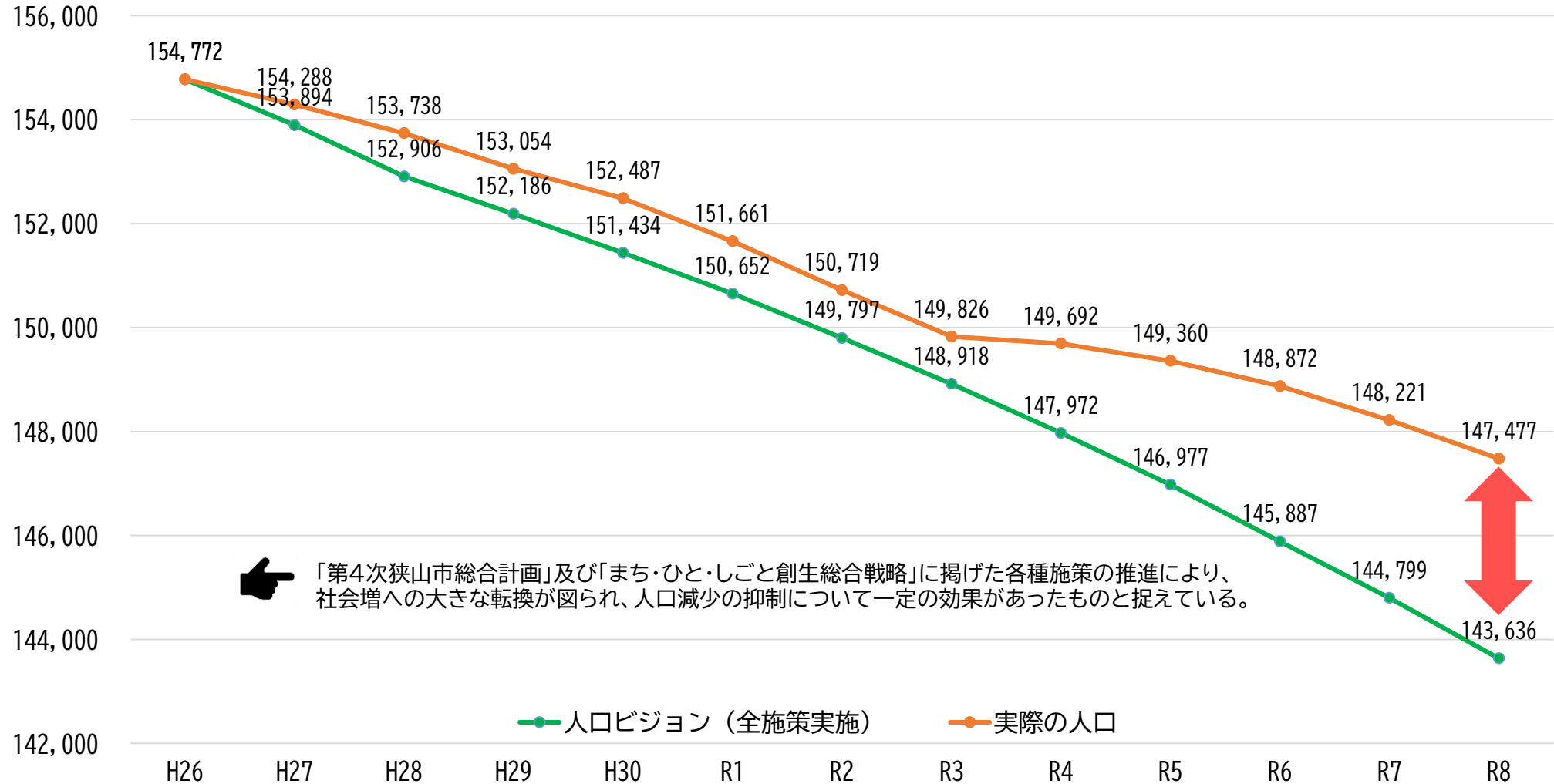
●テーマ2 まちと産業の進化を目指そう

●テーマ3 人生100年時代を支える
健康と安全を守ろう

●テーマ4 みんなの力で未来につなごう

本市の人口について

1. 本市の人口動態



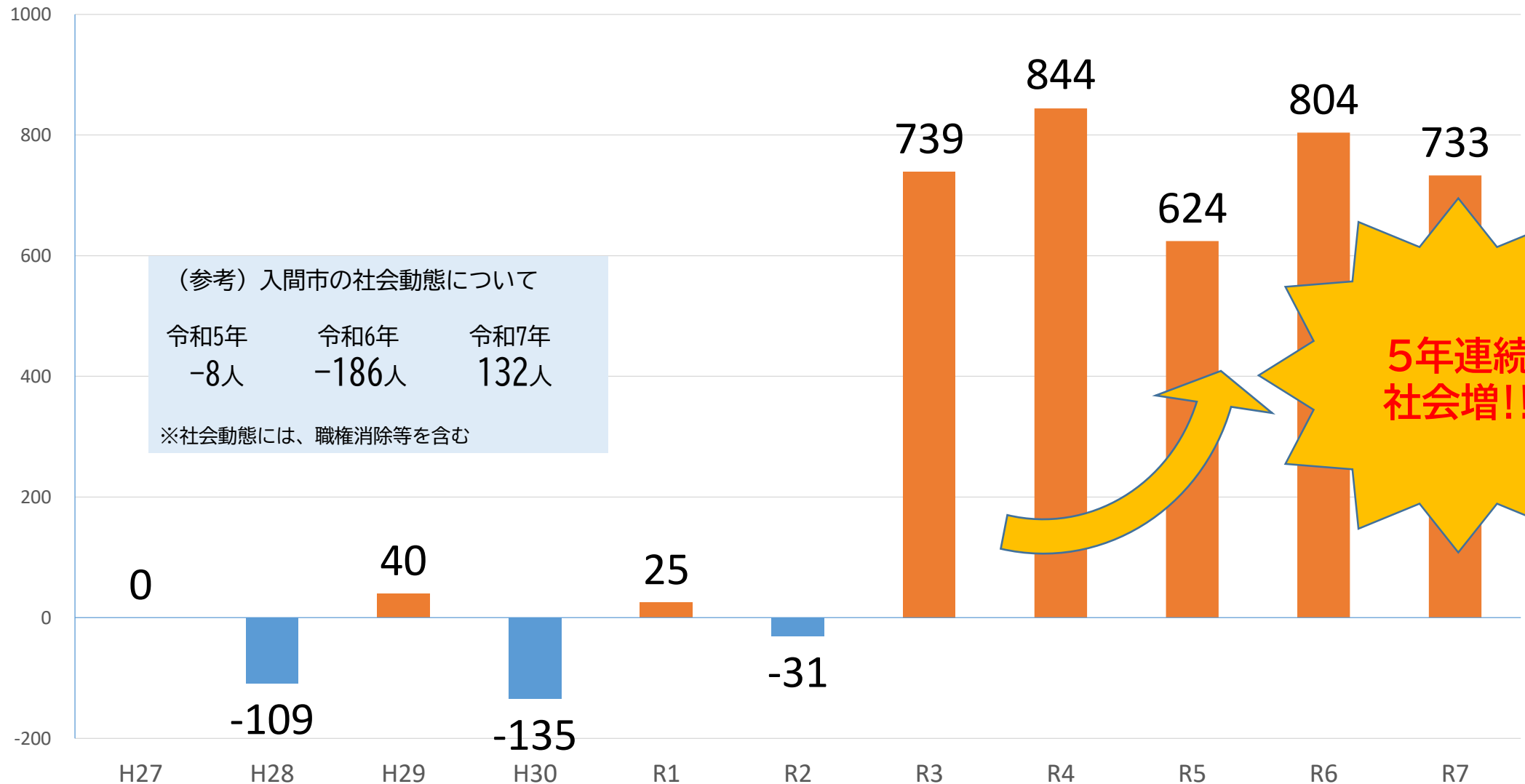
「第4次狭山市総合計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた各種施策の推進により、社会増への大きな転換が図られ、人口減少の抑制について一定の効果があったものと捉えている。



平成27年度に策定した人口ビジョンと比較して
3,841人の上振れ

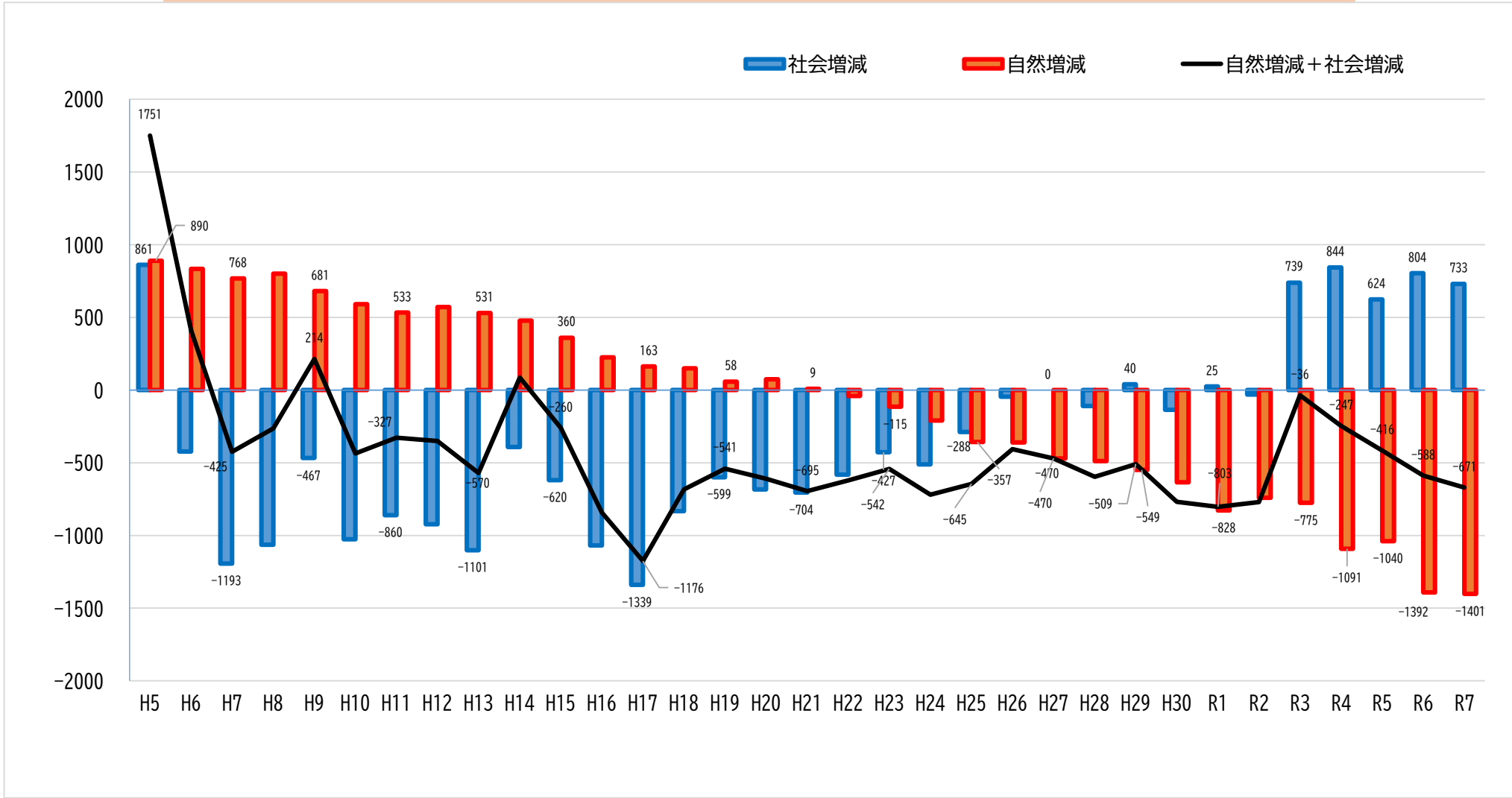
本市の人口について

2. 狭山市の転出入の推移(平成27年～令和7年)



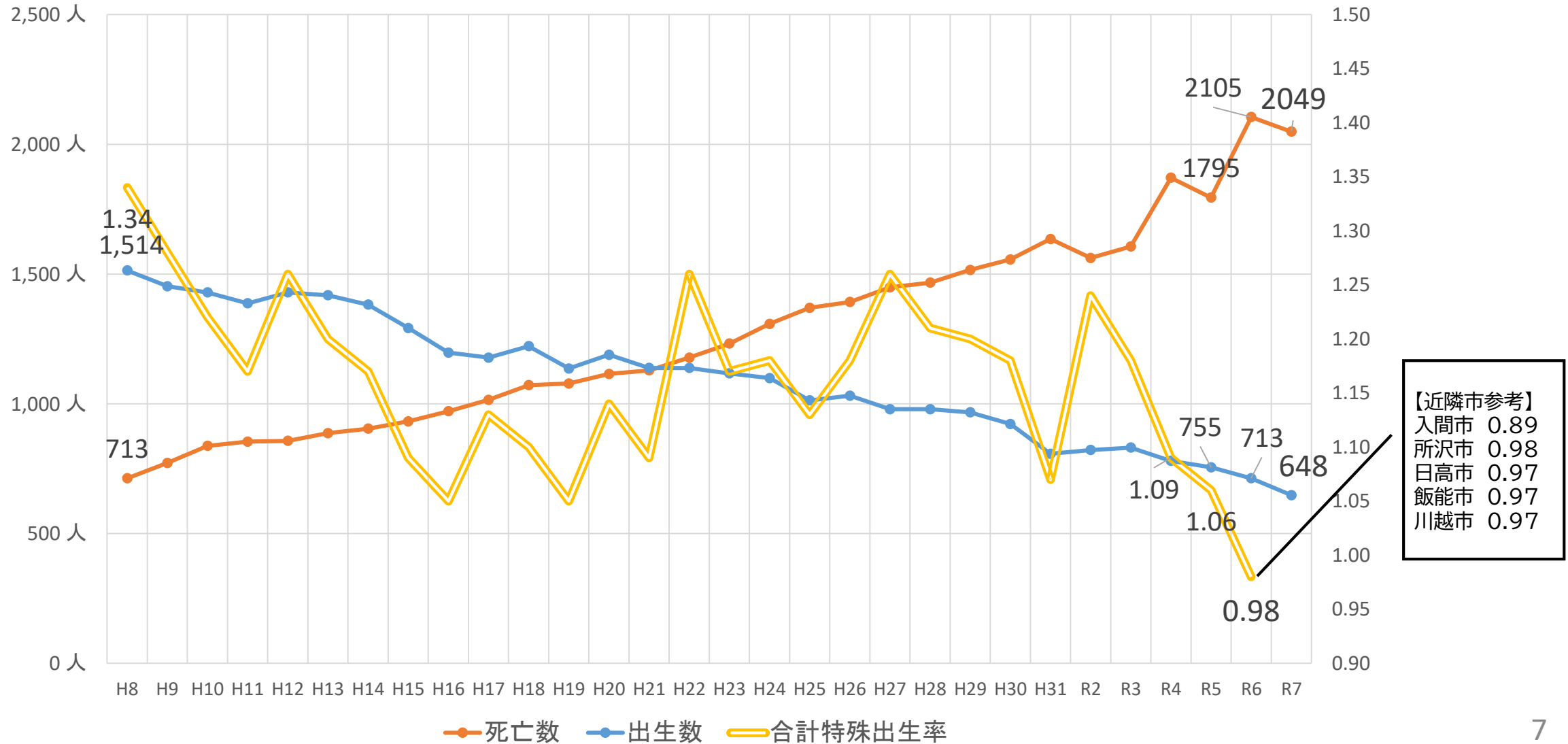
本市の人口について

3. 狭山市の人口動態の推移(平成5年～令和7年)



本市の人口について

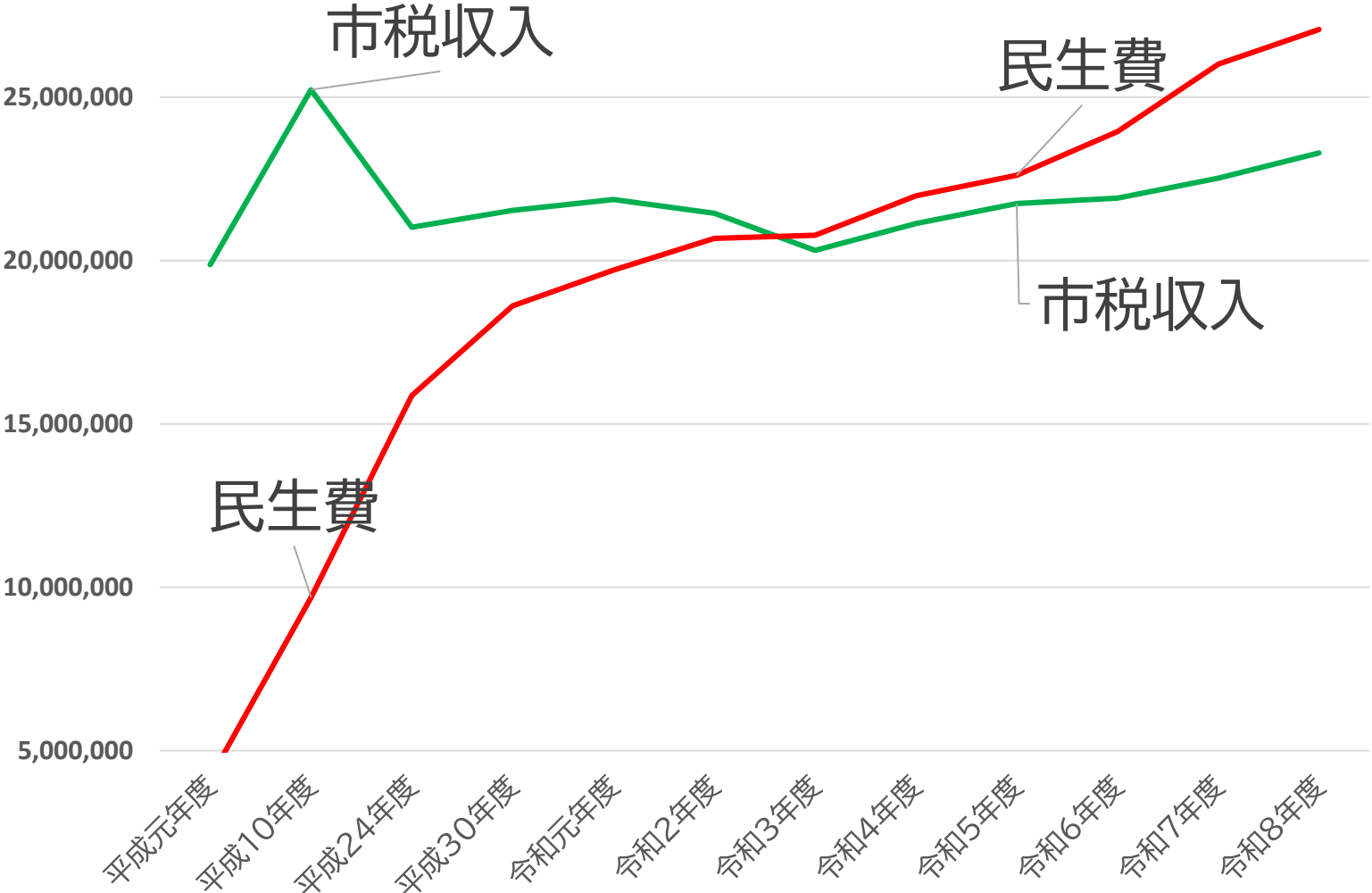
4. 本市の死亡数と出生数、合計特殊出生率の推移



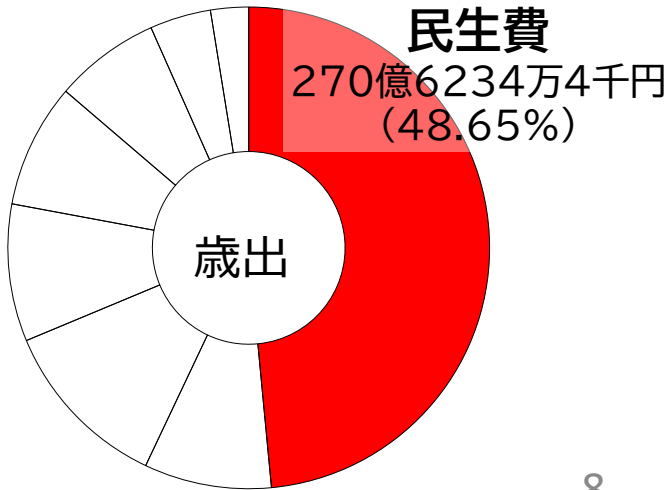
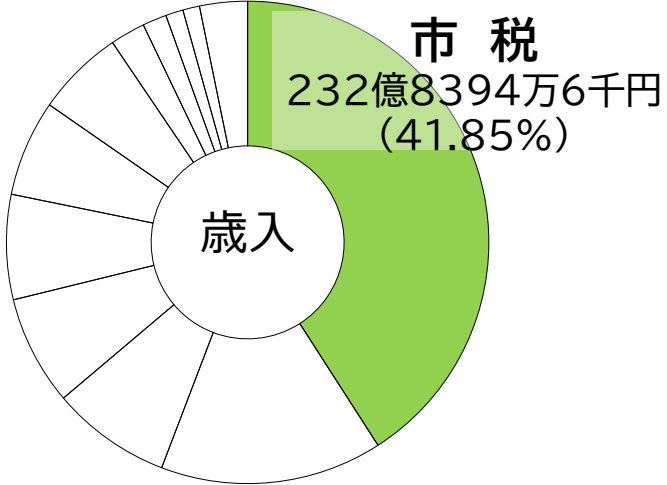
本市の財政状況について

1. 当初予算額に占める市税収入と民生費の構成割合の変化

単位(千円)



令和8年度予算案



一般会計の予算総額は**5年連続**過去最大

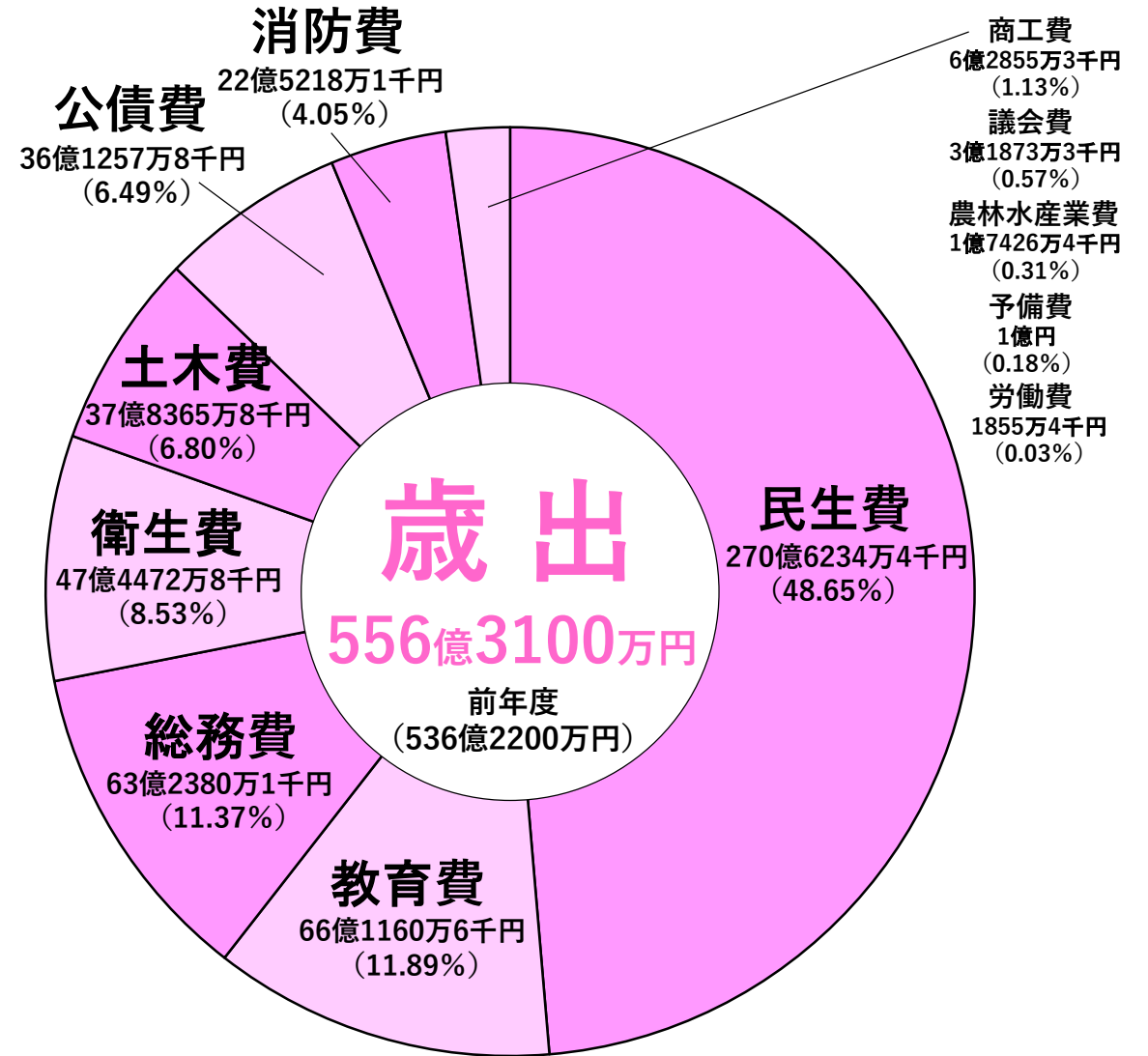
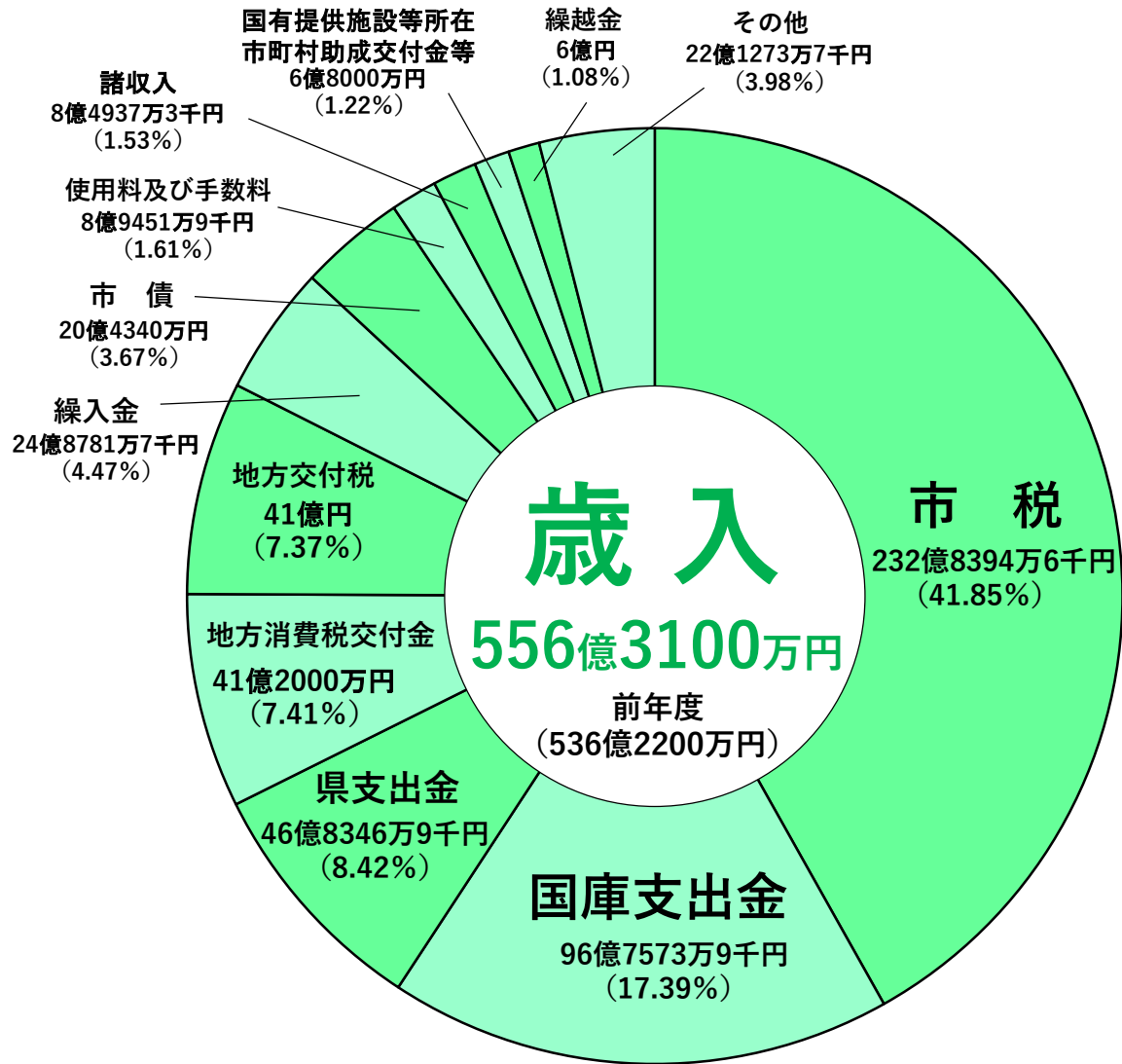
予算総額 988億2,656万8千円 (前年度対比3.5%増)

一般会計 556億3,100万円 (前年度対比 3.7%増)

特別会計 322億5,515万5千円 (前年度対比 2.2%増)

公営企業会計 109億4,041万3千円 (前年度対比 6.1 %増)

令和8年度 財政収支見込み



物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用

地方創生臨時交付金を活用する事業

令和7年11月21日に閣議決定された総合経済対策において、本交付金を拡充する旨が盛り込まれ、国の令和7年度補正予算を財源とした交付限度額 **1,130,222千円** が本市に示されました。本市では以下の事業に活用してまいります。

令和7年度

狭山市食料品等物価高騰対応給付金

令和7年12月1日時点で狭山市に住民登録がある全ての方に

1人あたり現金**4000**円を
世帯ごとに支給します

※世帯主の口座に世帯員分を振り込みます

小中学校就学援助事業

就学援助制度

小中学生の子供がいるご家庭に
学用品費（ノートや鉛筆など）
給食費
修学旅行費
等を支援する制度です！

文科省HPより引用

令和7年度
令和8年度

令和8年度

中学校給食補助金

水道基本料金 2か月分減免

収入・支出のお知らせ	
住所	〒128-8567 東京都小平市
支店	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
種別	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
期	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日
元金	12,345円
手数料	〇〇〇円
支払合計	12,345円
元金	12,345円
手数料	〇〇〇円
支払合計	12,345円
収入	12,345円
支出	12,345円
収入合計	12,345円
支出合計	12,345円
収入超過額	〇〇〇円
支出超過額	〇〇〇円
収入超過額	〇〇〇円
支出超過額	〇〇〇円

令和8年度

テーマ1 若い世代を伸ばそう

まちの将来を担う主役は、狭山市発展の原動力となる「若い世代」です。
みんなで若い世代の活躍の場を広げながら、力を伸ばし、可能性を伸ばし、人数も伸ばし、人口減少時代でも活力あるまちづくりを進めます。

- 健康づくり・保健予防の推進(施策7)
- こども・子育て支援の充実(施策10)
- 仕事と子育ての両立支援(施策11)
- 児童虐待防止対策の充実(施策13)
- 多様な働き方の支援と雇用機会の拡充
(施策28)
- 教育の内容と支援の充実(施策37)
- 豊かで健やかな心身の育成(施策38)
- 教育環境の充実(施策39)
- 家庭や地域との連携(施策40)
- 男女共同参画の推進(施策46)

新規

こども誰でも通園制度を実施

全てのこどもの育ちを応援するとともに、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するための「こども誰でも通園制度」を新たに実施します。

子どものための教育・保育給付等事業費 (実施計画書 P18)

■ 乳児等支援給付費 2,256千円

利用対象 ▶ 原則、市内在住の生後6か月から満3歳未満までの、保育所等に通っていない児童

利用時間 ▶ こども一人あたり月10時間を上限として利用が可能

実施場所 ▶ 狭山台南保育所ほか

広瀬保育所を基幹型保育所として位置づけ

多様化する子育てを支援する中心的役割を担うため、本市南部の入曽保育所に続き、北部の広瀬保育所にも、基幹型保育所の機能を付加し、妊娠期から子育て期までの相談支援や医療的ケア児の保育などを実施することで、地域の子育て支援の充実を図ります。

公立保育所保育事業費 (実施計画書 P18)

■ 看護師給料 12,938千円

■ 健康管理システム導入委託料 116千円

写真：相談室増設
令和8年1月末撮影



新規

はじめてのえほんプレゼント事業を実施

少子化が進むなか、本市におけるさらなる子育て支援として、出生児に「はじめてのえほん」をプレゼントします。

絵本1冊と、地域子育て支援施設の案内や読み聞かせ方法のアドバイス等を記載したチラシをオリジナルトートバックに入れ、ギフトセットとしてお渡しします。

子育て支援事業費（実施計画書 P17）

■ はじめてのえほんプレゼントセット購入費 637千円



文:松谷みよ子
絵:瀬川康男
童心社 1967年



作:柳原良平
こぐま社 2015年



作・絵:まつおかたつひで
ポプラ社 2000年



学童保育室の待機児童解消へ

働く親世代の増加に対応するため、柏原・広瀬小学校区に民間学童保育室を誘致するほか、学校の余裕教室を利用してタイムシェア型学童保育室を開設します。また、夏季休業期間の児童の保育体制を拡充します。

公立学童保育室管理事業費
民間学童保育室支援事業費

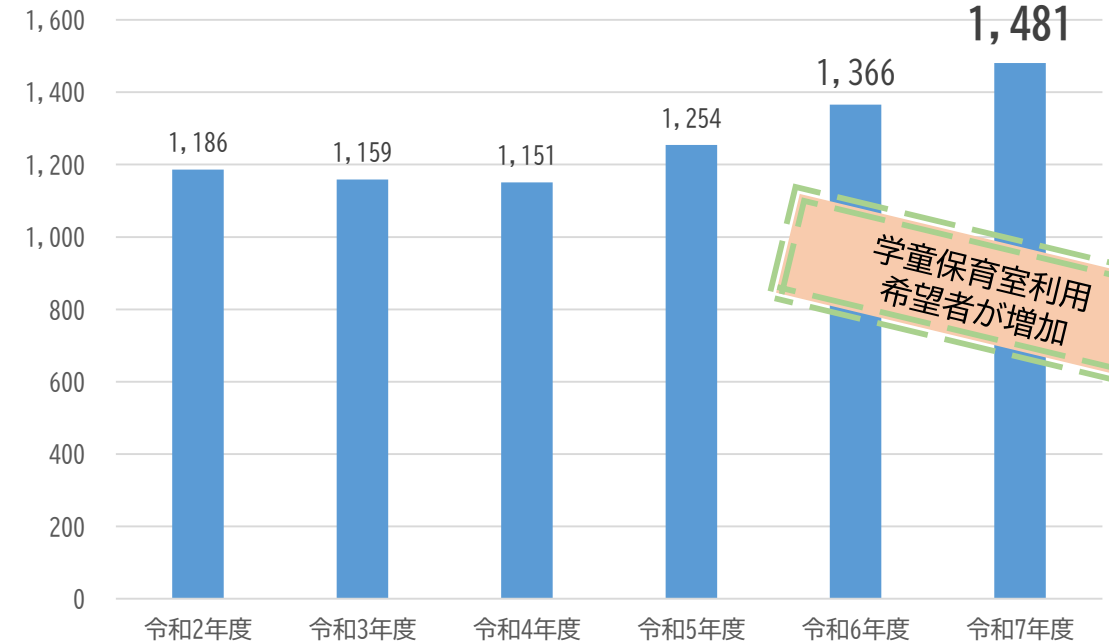
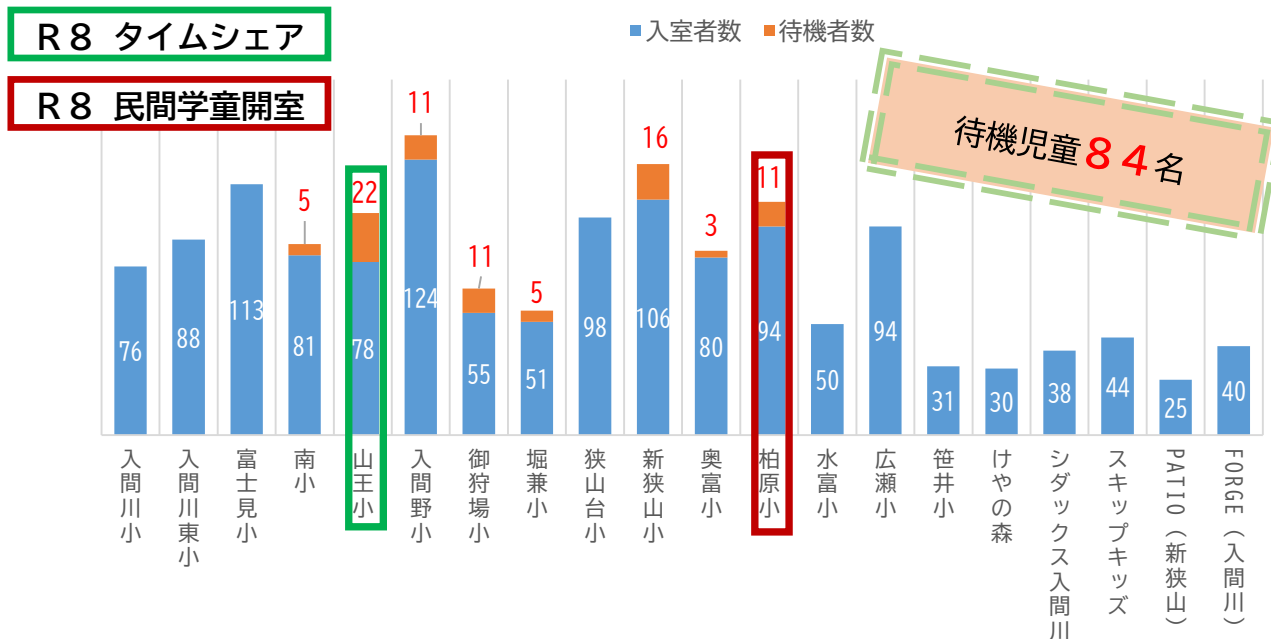
総事業費 535,834千円 (実施計画書 P19)

総事業費 128,877千円 (実施計画書 P19)

申請者数推移

毎年4月1日現在

令和7年4月1日 学童保育室入室状況



学童保育室の待機児童解消へ

①タイムシェア型学童保育室の開設

■ 公立学童保育室指定管理料の増 **11,800**千円

新規 山王小学童保育室の定員を**40**名増やします。

②民間学童保育室の拡充

■ 放課後児童健全育成事業費補助金の増 **29,976**千円

新規 柏原・広瀬小学校区に新たに定員**40**名の民間学童保育室を誘致します。

③夏休み期間限定の学童保育室を開設

■ 学童保育事業委託料 **2,200**千円

狭山台小に夏休み限定の学童保育室を開設し、**40**名の児童を受入れます。

(市内すべての学区児童が対象)

新規

中学生による姉妹友好都市との国際交流を実施

子どもたちの国際感覚を養い、幅広い視点を身につけるために、中学生を姉妹都市へ派遣し文化交流を行う中学生国際交流事業を実施。姉妹都市である韓国統営市と中学生国際交流・文化交流を行います。

国際理解教育推進事業費 (実施計画書 P42)

- 特別旅費 430千円
- 事業用消耗品費 20千円
- 傷害保険料 2千円
- 中学生国際交流事業委託料 4,406千円



イメージ：行政視察訪問時（令和5年度実施）

小学校全校で民間スイミングスクールを活用した水泳授業を実施

令和7年度実施の小学校9校に加え、新たに6校を追加し、市内の小学校全15校で民間スイミングスクールを活用した水泳指導を実施し、児童の泳力向上と教員の負担軽減、夏場への異常気象への対応を図ります。

さやまっ子スイスイプロジェクト事業費(実施計画書 P43)

■水泳指導委託料 82,049千円

令和6年度実施 3校

令和7年度実施 9校

令和8年度実施 **15校** (6校追加)

受入れ先スイミングスクール

- ・狭山スイミングクラブ(狭山市)
- ・スポーツクラブ アイファ(狭山市)
- ・コナミスポーツ入間(入間市)



新規

全ての中学校体育館等へ空調を整備

夏場の猛暑で部活動等ができない環境の改善や、地域の避難所としての防災・減災対策のため、全ての中学校体育館等へ空調設備の整備を進めます。

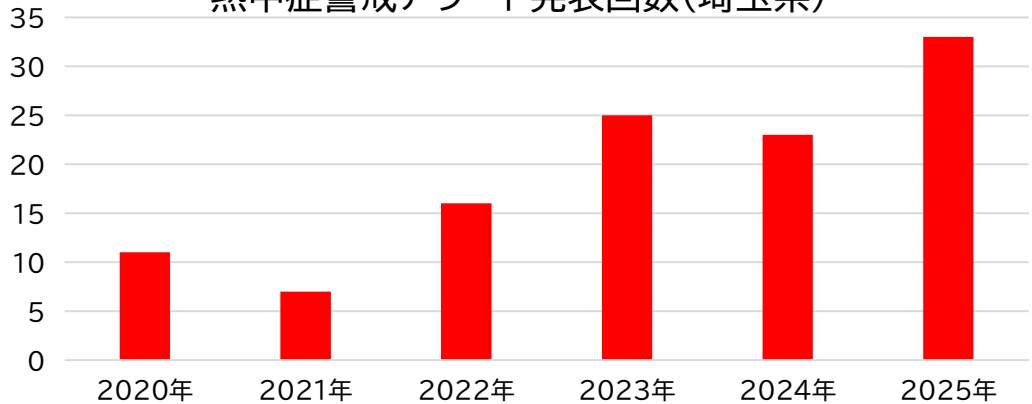
中学校体育館空調設備等整備事業費

753,846千円 (実施計画書 P44)

(特定財源)

- ・ 学校施設環境改善交付金 32,267千円
- ・ 緊急防災・減災事業債等 703,500千円
(充当率100% 交付税措置率70%)
- ・ 地方交付税額見込み 481,670千円

熱中症警戒アラート発表回数(埼玉県)



出所：環境省HP



写真：西中学校体育館

フェムテックを活用した啓発事業を実施

職場における女性特有の健康課題への理解増進を図るため、市内企業に向けてもフェムテックを活用した啓発事業を実施します。また、本庁舎及び入曽地域交流センターに生理用品の無料提供機器を設置し、生理に関する女性の不安や負担の軽減を図ります。

男女共同参画推進事業費 (実施計画書 P50)

- フェムテック体験事業運営委託料 352千円
- システム使用料 27千円
- 機器等借上料 132千円
- 生理用品提供機器設置工事費 149千円



令和7年11月18日飯能信用金庫共催の「生理痛体験研修」を開催し、機器を利用した生理痛体験、男女・職位混成のグループで「生理に関する理解を深めるための取組み」について考えるワークを行いました。

テーマ2 まちと産業の進化をめざそう

まちを支える基盤は、「都市機能」と「産業」です。

みんなでまちに賑わいを創出し、産業を活性化しながら、まちと産業も社会に合わせてアップデートし、人と企業に選ばれるまちづくりを進めます。

- コンパクトなまちづくりの推進(施策19)
- 道路ネットワークの構築(施策20)
- 計画的な土地利用転換(施策22)
- 新たな企業・事業者の育成(施策29)
- 地域産業の支援の充実(施策30)
- 地域商業の活性化(施策31)
- 工業の活性化(施策32)
- 農業の活性化(施策33)
- 地域資源を活用した観光の推進
(施策34)

人口減少に対応するコンパクトなまちづくり

「第2次狭山市都市計画マスタープラン」や、策定を進めている「狭山市立地適正化計画」に基づき、市民の生活利便性の向上を図り、誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくりを推進します。



都市計画推進事業費 9,996千円 (実施計画書 P26)

(主な取り組み)

■官民連携まちづくり推進業務委託料 9,996千円

【好循環のまちづくりのイメージ】



道路整備で利便性の向上と周辺地域の土地利用促進

狭山市駅加佐志線と入間川入曽線を整備することにより円滑な交通と利便性の向上を図り、周辺地域の土地利用を促進します。



写真：令和8年度末の供用開始を目指している狭山市駅加佐志線

狭山市駅加佐志線整備事業費 148,700千円
(実施計画書 P26)

(主な取り組み)

■道路改良工事費 148,700千円

入間川入曽線整備事業費 174,102千円 (実施計画書 P26)

(主な取り組み)

■調査委託料 2,600千円

■設計委託料 7,000千円

■道路用地取得費 30,975千円

■物件補償料 129,827千円



狭山茶ブランドの確立と消費拡大

近年生活様式の変化や多様化などにより急須を用いてお茶を飲用する機会が減少している中、茶業の振興を図るため、狭山新茶まつりや狭山茶フェスなどの啓発イベントや婚姻届提出者への急須のプレゼントなどを行っています。

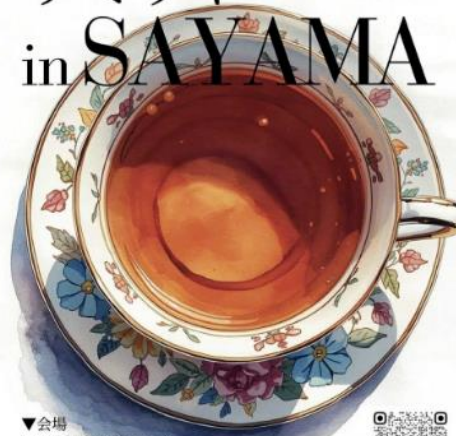
令和8年度は「第24回全国地紅茶サミット in SAYAMA」が開催されることもあり、「和紅茶」なども含め、狭山茶の認知度向上とともに、狭山茶ブランドの確立と消費拡大を推進します。

狭山茶消費拡大振興事業費
3,415千円 (実施計画書 P36)

(主な取り組み)

- 狭山茶PR手当 32千円
- 狭山茶生産力強化支援事業補助金 1,600千円

第24回
全国地紅茶
サミット
in SAYAMA



▼会場
狭山市民交流センター
▼主催
地紅茶サミット埼玉実行委員会



@SAYAMAKOUCHA

2027.1.30-31

島田から、
狭山へ。

全国の和紅茶生産者が一堂に。
狭山で巡る、日本の紅茶。



テーマ3 人生100年時代を支える 健康と安全を守ろう

人生100年時代を支える土台となるのは、「健康」と「安全」です。
みんなで支え合いながら、誰もが健康で活躍できる、また、安全で安心して暮らし続けることができるまちづくりを進めます。

- 地球環境の保全(施策1)
- 健康づくり・保健予防の推進(施策7)
- 高齢者の生きがいづくりの推進(施策14)
- 地域包括ケアの推進(施策15)
- 障害者の社会参加の促進(施策18)
- 住宅などの適正な管理及び安全性の確保の推進
(施策24)
- 安全で安定した上下水道(施策27)
- 生涯学習の推進(施策35)
- 生涯スポーツの推進(施策36)
- 市民主体のまちづくりの推進(施策45)
- 危機管理防災体制の充実(施策47)
- 消防・救急体制の充実(施策48)
- 交通安全対策の充実(施策49)
- 地域防犯対策の推進(施策50)

脱炭素化に向けたクリーンエネルギーの推進

地球温暖化防止対策への取り組みを促進するため、太陽光発電システムや電気自動車の購入などを補助する「クリーンエネルギー推進補助金」を引き続き実施します。

また、令和8年度は新たな補助メニューとして、宅配業者の再配達防止に寄与する集合住宅への「宅配BOXの設置」に対して補助金を交付します。



イメージ：宅配BOXの設置

クリーンエネルギー推進補助事業費 **17,500**千円
(実施計画書 P7)

- クリーンエネルギー推進補助金 16,400千円
- 再エネ電気切替協力金 1,100千円

(参考)

過去3か年度設置分の令和7年度削減量



合計**834.2**tCO₂の削減



杉の木約**59,600**本の年間吸収量に相当(面積換算で智光山公園の37%相当)

住宅取得補助制度のリニューアル

本市を取り巻く社会状況や地域課題の変化を踏まえ、これまで行ってきた親元での同居・近居や若い世代の住宅取得に対する補助制度をリニューアルし、新たな制度となる「**狭山市親世帯安心同居・近居補助制度**」及び「**狭山市若い世代の住宅ストック循環促進補助制度**」をスタートします。

実績(H29.4.1～R7.12.31) ※親元同居・近居支援補助制度、若い世代の住宅取得支援補助制度合計

総交付件数 **1,629** 件 総交付額 **382,806** 千円 対象者 **5,098** 人 総転入者数 3,050人
総転入抑制者(市内転居) 2,048人

親元同居・近居支援補助制度（平成29年～）

趣 旨: 子育て、介護等の共助を推進し、若年世帯の転入と定住の促進を図るために親世帯と子世帯が同居または近居するための住宅の新築、購入または増改築の費用の一部を補助する
対象者: 市外から転入し住宅を取得した方
補助額: 基本額30万円(加算要件あり)

R8.4.1

親世帯安心同居・近居補助制度

高齢者の見守りに重点を置き、家族による日常的な見守りや生活支援等を通じた**高齢者が安心して暮らせる環境づくりの推進**を目的とした制度にリニューアル

若い世代の住宅取得支援補助制度（令和2年～）

趣 旨: 若年世帯の定住促進と転出抑制を図るために市内に住宅を新築または新築住宅を購入した際の費用の一部を補助する
対象者: 市内で新築住宅を取得した40歳未満の方
補助額: 基本額15万円(加算要件あり)

R8.4.1


若い世代の住宅ストック循環促進補助制度

空き家の発生抑制や中古住宅の利活用の高まりが見込まれることから、**中古住宅取得支援**にシフトした制度にリニューアル

狭山市親世帯安心同居・近居補助制度の創設

家族による日常的な見守りや生活支援等を通じて、高齢者が安心して暮らせる環境づくりの推進及び若年世帯の転入と定住の促進を図るために、高齢の親世帯と子世帯が同居または近居するための住宅の新築、購入または増改築の費用の一部を補助します。

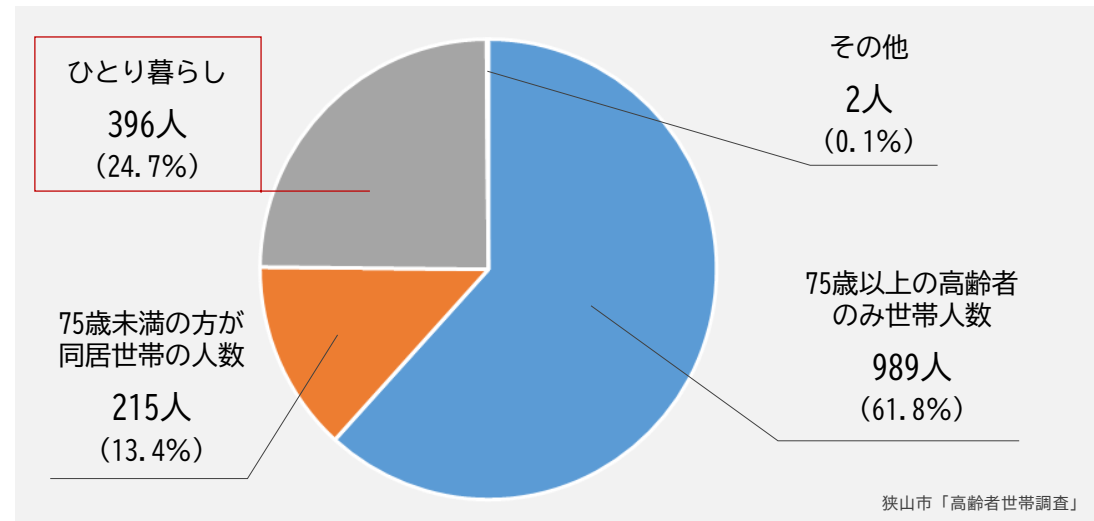
(制度の概要)

 狭山市親世帯安心同居・近居補助制度	
対象となる方	申請日時点で以下の全てに該当する方 <ul style="list-style-type: none"> ● 子世帯は、夫婦のどちらかが46歳未満の世帯か、46歳未満のひとり親世帯 ● 子世帯全員が3年以内に狭山市に転入している ● 子世帯全員が狭山市の住民基本台帳に登録されている ● 市内在住の親のどちらかが65歳以上 ● 親世帯全員が3年以上狭山市の住民基本台帳に登録されている
対象となる住宅	申請日時点で以下の全てに該当する住宅 <ul style="list-style-type: none"> ● 対象者が自ら居住する一戸建て住宅かマンション ● 対象世帯員の所有で、所有権の保存か移転の登記がされている(新築と購入の場合は、申請日前3年以内) ● 購入の場合は、売買契約時に築20年未満、増改築の場合は、世帯員増加に伴うもので申請日前3年以内に工事が完了 ● 居住部分の壁芯面積が50㎡以上
補助額	新築・購入 30万円 増改築 工事費の20%(上限20万円)

高齢の両親が心配なので、近くに暮らしたい
こんな方におすすめ



75歳到達者等高齢者の世帯状況 (令和6年度)



社会福祉事業費 **13,726**千円
 (実施計画外)


■ 親世帯安心同居・近居補助金

12,000千円

狭山市若い世代の住宅ストック循環促進補助制度の創設


空家の発生抑制と若年世帯の移住定住促進を図るため、市内に中古住宅を購入した際の費用の一部を補助します。

(制度の概要)

 **狭山市若い世代の住宅ストック循環促進補助制度**

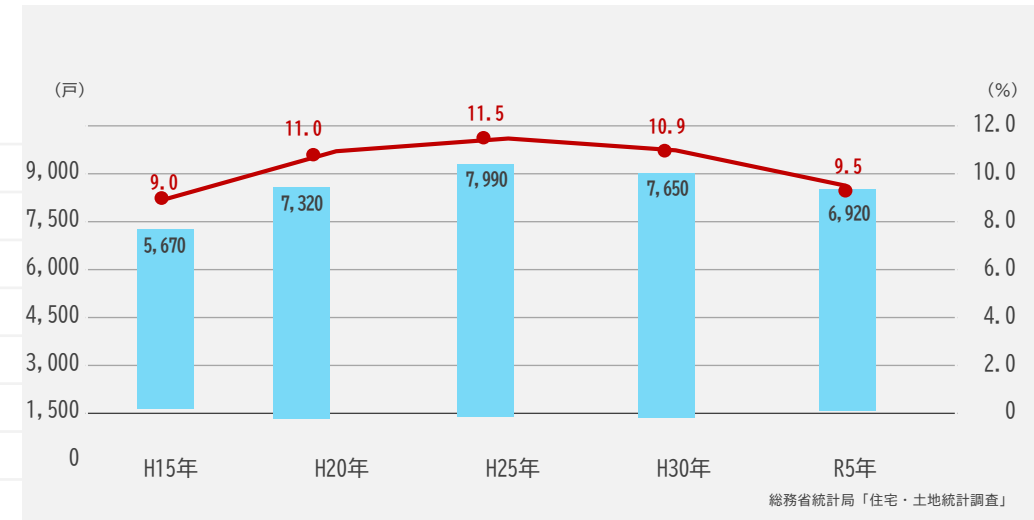
対象となる方	申請日時時点で以下の全てに該当する方 <ul style="list-style-type: none"> ● 1年以内に一戸建ての中古住宅を購入した ● 夫婦のどちらかが46歳未満の世帯が、対象者が46歳未満のひとり親世帯 ● 世帯員全員が狭山市に住民登録されている
対象となる住宅	申請日時時点で以下の全てに該当する住宅 <ul style="list-style-type: none"> ● 過去に居住の用に供された一戸建ての住宅で対象者が自ら居住する ● 所有権移転の登記がされている ● 宅地建物取引業者と売主との間で売買の代理契約か仲介契約を締結して販売されているか、宅地建物取引業者が売主となっている ● 売買契約時に、築20年以上経過している ● 昭和56年6月1日以降に工事着手している(ただし、それ以前に着手した住宅でも、耐震診断などにより安全性が確認されている場合は除く) ● 対象者の三親等以内の親族以外が所有していた
補助額	50万円

新築よりもお手頃な中古住宅を購入したい



こんな方におススメ

市内の空家数と空家率の推移



空家等対策推進事業費

16,001千円
(実施計画P27)

■ 若い世代の住宅ストック
循環促進補助金 5,000千円 29

市民大学のリニューアル開講

まちづくりを担う人材の育成と、学びの成果を地域社会の中で活かす仕組みづくりを目的に、幅広い世代が学ぶ大人の学び舎「さやま市民大学」が令和7年10月に「教養学部」及び「コミュニティデザイン学部（トライアル）」として再スタートしました。
令和8年度には、教養学部2学年制2年度目としての安定的な運営と講座の拡充や、コミュニティデザイン学部開講に向けた事業実施を図ります。

市民大学事業費 8,478千円（実施計画P49）

教養学部

- ・講座の量的拡充
- ・応用・発展的講座や公募講師講座等の実施

コミュニティデザイン学部

- ・まちづくりへの関心や行動段階に応じた事業の展開と検証
- ・令和9年度コミュニティデザイン学部開講に向けた準備

共通

- ・公開講座や、認知度向上に向けたイベント等の開催



写真：教養学部の講座の様子



写真：コミュニティデザイン学部³⁰
トークセッションの様子

上水道の耐震化で水道水の災害時への備え

笹井配水場電気計装設備の更新や管路の漏水調査など、施設の計画的な更新と適切な維持管理を実施するとともに、良好な水質の管理に努め、安全で安心な水道水の安定供給を図ってまいります。また、特に管路については、計画的な更新や耐震化を進め、災害に強く安全で安心な水道水の安定供給を行います。



《笹井配水場》

浄配水施設更新事業 433,166千円 (実施計画P31)

経過年数や施設の状況に応じ、計画的に施設の更新及び耐震化を行います。

《対象施設》

笹井配水場、柏原浄水場、堀兼浄水場

老朽管更新事業 840,000千円 (実施計画P31)

耐用年数を経過した塩化ビニール管等の更新を行うとともに耐震化を行います。

令和7年度末の耐震化率（見込み）

管路	浄水施設	配水施設
88.1%	100%	90.7%

公共下水道管の安全・安心な維持管理

災害時のリスクを軽減するため、管渠の計画的な調査、更新や耐震化を推進し、安全・安心な下水道事業の運営を行います。



下水道総合地震対策事業 292,701千円 (実施計画P31)

下水道総合地震対策計画に基づき、施設の耐震診断及び対策工事を実施します。

下水道ストックマネジメント事業 449,077千円 (実施計画P31)

下水道施設の適切な維持管理を行うとともに、予防保全型の管理対策となる下水道ストックマネジメント計画に基づき、その対策工事を計画的に実施します。

水道料金及び下水道使用料の改定による経営の安定化

人口減少による水道料金収入・下水道使用料収入が減少する一方で、老朽化が進む管路や施設の維持管理、更新費用が物価高騰の影響により増加している状況や、県水受水単価等の引き上げを受け、サービスの安定的な提供体制を維持するため、令和8年10月から必要な料金改定を行います。

▶ 埼玉県の動向

◇県水受水単価が令和8年度に61.78円/m³から74.74円/m³へ値上げ

◇荒川右岸流域下水道維持管理負担金が段階的に値上げ
～R6年度 :32円/m³ →R7年度 :38円/m³ →R8年度～:43円/m³

▶ 改定後の負担イメージ

※メーター口径20mm・1ヶ月20m³使用時のひと月当たり料金



現行:水道料金 + 下水道使用料 = **4,147円**

↓

改定後:水道料金 + 下水道使用料 = **5,136円**



※ひと月あたり**989円の増額**

平均改定率 水道:29.75% 下水道9.86%

生涯スポーツの推進・アスリートの活躍

競技スポーツ団体の活動を支援するとともに、アスリートの技術に接する機会の充実を図ります。
また、青少年の競技スポーツの普及と技術の向上を担う指導者を確保します。

競技スポーツ振興事業 5,631千円（実施計画P39）



顕彰状の授与のようす



大会当日のようす

危機管理防災対策の充実

防災訓練の充実と強化を図るほか、新たな防災気象情報を記載した水害ハザードマップを作成します。また、避難所における生活環境の改善を図るため、暑さ対策として冷感タオルや経口補水液などを新たに備蓄するとともに、国の交付金を活用し、避難所で温かい食事を提供するための防災用可搬型コンロなどの備蓄品を整備します。

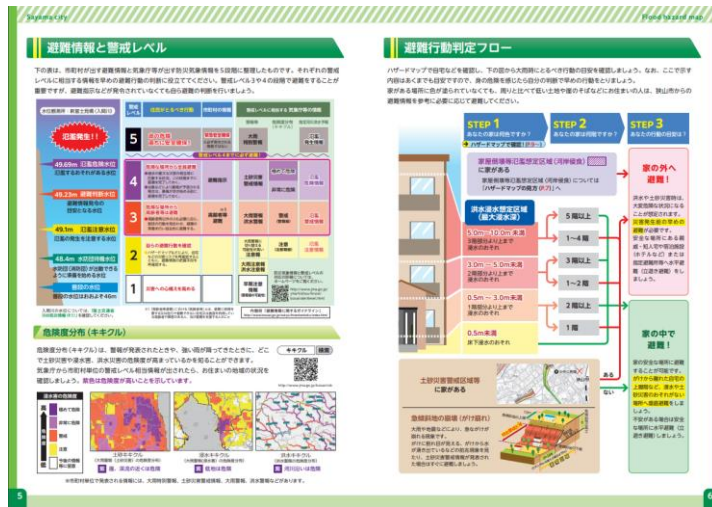
防災体制強化事業費 12,656千円 (実施計画P51)

ハザードマップ作成業務委託料 6,050千円

災害応急対策事業費 28,477千円 (実施計画P51)

防災設備備品購入費 5,866千円

備蓄品購入費 6,701千円



現行のハザードマップ (令和4年3月発行)



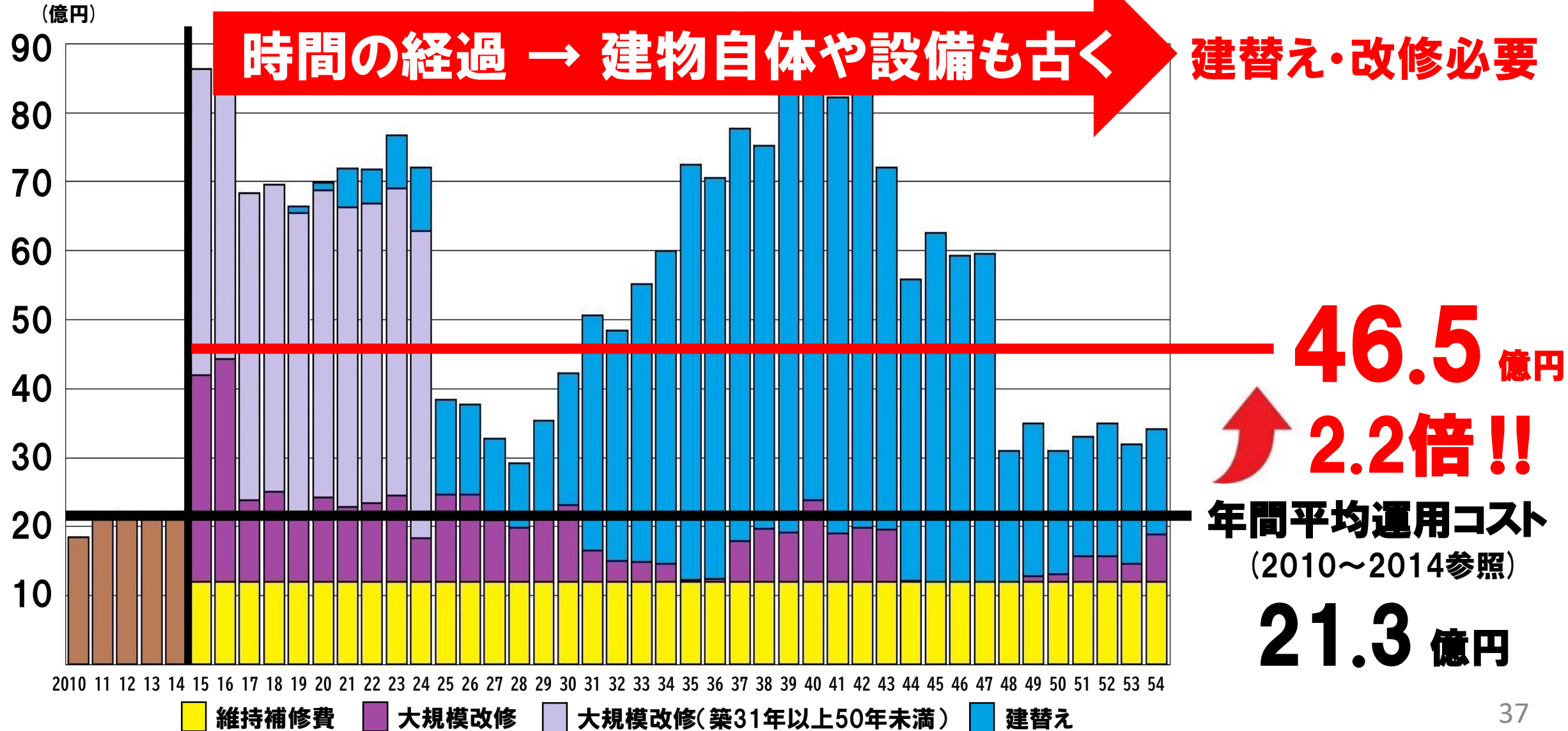
テーマ4 みんなの力で未来につなごう

わがまち狭山が進む方向は、明るい希望が持てる「未来」です。

みんなで未来に視点を置きながら市政を運営し、不透明・不確実で変わり続ける社会情勢に対し、柔軟に対応するまちづくりを進めます。

- 施策を支える柱1 協働によるまちづくり
- 施策を支える柱2 健全な行財政運営
- 施策を支える柱3 積極的なデジタル技術の活用

公共施設の見直し



公共施設の見直し

改修や建替えに掛かる財政負担の軽減と平準化を図るため、「公共施設再編計画」の見直しに取り組みます。

公共建築物等再編統合事業費

11,467千円（実施計画書 P57）

（主な取り組み）

- 公共施設再編計画策定
支援委託料 11,440千円



保健センター改修後の完成予定図（内装）



歳入増加に向けた「ふるさと納税」の推進

今後注目の返礼品！



HAZY LABOの350ml缶
おまかせ6本セット
寄附額：2万円

狭山市で作られたビール！！
HAZY LABOは、新狭山駅北口徒歩1分にあるHAZY×IPAの研究をするブルワリー。
テイスティングルームの真横に醸造所を構えています。

ふるさと納税事業費

120,000千円
(実施計画書 P57)

(主な取り組み)

■ ふるさと納税運用業務代行委託料

92,904千円



小岩井乳業の免疫ケアヨーグルト
16個セット
寄附額：1万円

ヨーグルトらしいさわやかな酸味とすっきりとした甘みの毎日食べやすい、プラズマ乳酸菌1,000億個含有の免疫ケアヨーグルトです。
ヨーグルトに含まれているプラズマ乳酸菌は健康な人の免疫機能の維持をサポートします。【プラズマ乳酸菌の研究報告】



ケヤキの無垢材を使用した

木軸ボールペン

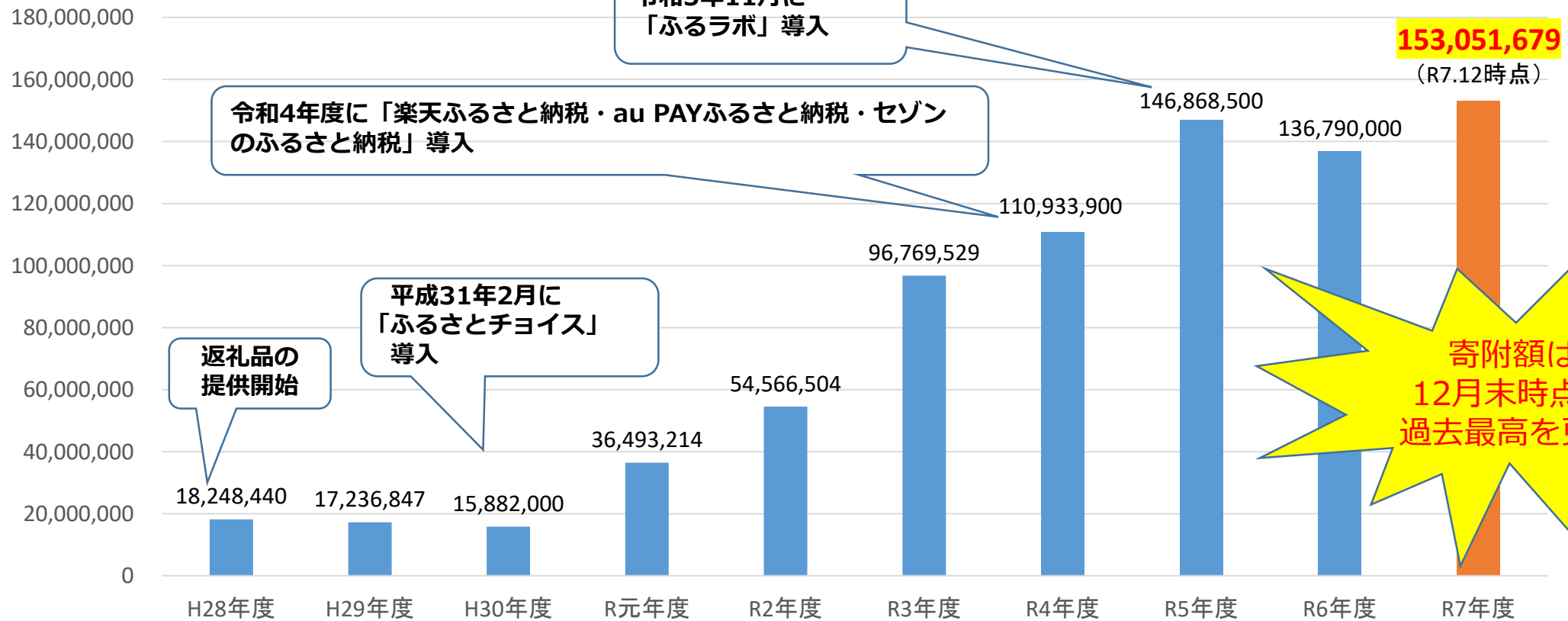
選べるカラー

林蔵 wood furnitureの
・ケヤキの木軸ボールペン×1
・専用箱×1
寄附額：2万2千円

ボールペンの持ち手部分にケヤキの無垢材を使用し、オイルにて仕上げたボールペンです。
使い込む程に、経年変化により味わいが増していきます。
天然木材特有の、二つと同じ木目が無く1本1本違う表情があります。

ふるさとと納税寄附額の推移(決算額)

(単位:円)



令和6年に「JREMALLふるさとチョイス・KABU&ふるさと納税・JALふるさと納税」導入

寄附額は
12月末時点で
過去最高を更新